

令和5年度 岡山学芸館高等学校 選抜1期入試【1月26日】 解答解説(数学)

1

- 【正解】 ① -13 ② -28 ③ $3x+8y$ ④ $-4a^2$ ⑤ $3\sqrt{3}+\sqrt{5}$ ⑥ $(x=)\frac{-5\pm\sqrt{17}}{2}$
 ⑦ $\frac{1}{2}$ ⑧ 77° ⑨ イ ⑩ 21.5(m)

【解説】

- ⑥ 解の公式から、 $x=\frac{-5\pm\sqrt{5^2-4\times 1\times 2}}{2\times 1}=\frac{-5\pm\sqrt{17}}{2}$
 ⑦ 箱Aに入っている玉を、赤₁、赤₂、赤₃、白₁、箱Bに入っている玉を、赤₄、赤₅、白₂、白₃と表す。玉の取り出し方は、
 (A, B)=(赤₁, 赤₄), (赤₁, 赤₅), (赤₁, 白₂), (赤₁, 白₃), (赤₂, 赤₄), (赤₂, 赤₅), (赤₂, 白₂), (赤₂, 白₃), (赤₃, 赤₄),
 (赤₃, 赤₅), (赤₃, 白₂), (赤₃, 白₃), (白₁, 赤₄), (白₁, 赤₅), (白₁, 白₂), (白₁, 白₃)の16通りあり、そのうち同じ色の玉を
 取り出す場合は下線部の8通りある。よって、求める確率は、 $\frac{8}{16}=\frac{1}{2}$ である。
 ⑧ $\angle DAE=\angle AEB=\angle BAE=(180^\circ-56^\circ)\div 2=62^\circ$ $\triangle AED$ の内角の和から、 $\angle x=180^\circ-(62^\circ+41^\circ)=180^\circ-103^\circ=77^\circ$
 ⑩ 中央値は、データを大きさの順に並べたとき、5番目の値と6番目の値の平均値であるから、 $\frac{21+22}{2}=21.5$ (m)

2

- 【正解】 ①(1) $x+y+90$ (2) $\frac{3}{10}x$ (3) $\frac{6}{25}y$ (4) 27 ② 1年生…110(人), 2年生…125(人)
 ③ 学校行事…遠足, 人数…103(人)

【解説】

- ② $x+y+90=325\cdots\textcircled{ア}$, $\frac{3}{10}x+\frac{6}{25}y+27=90\cdots\textcircled{イ}$ $\textcircled{ア}$ より、 $x+y=235\cdots\textcircled{ウ}$ $\textcircled{イ}$ より、 $5x+4y=1050\cdots\textcircled{エ}$
 $\textcircled{ウ}$ $\times 4$ より、 $x=110$ $\textcircled{ウ}$ に代入して、 $110+y=235$ $y=125$ よって、1年生110人, 2年生125人
 ③ 文化祭と回答した人数は、 $110\times\frac{40}{100}+125\times\frac{28}{100}+90\times\frac{20}{100}=44+35+18=97$ (人)
 遠足と回答した人数は、 $110\times\frac{20}{100}+125\times\frac{36}{100}+90\times\frac{40}{100}=22+45+36=103$ (人)

3

- 【正解】 ① $48(\text{cm}^3)$ ② $\frac{32}{3}(\text{cm}^2)$ ③ $\frac{1}{54}$ (倍)

【解説】

- ① $AB=EF=8\text{cm}$, $AD=FG=4\text{cm}$, $AE=9\text{cm}$ だから、三角錐A-EFGの体積は、 $\frac{1}{3}\times\left(\frac{1}{2}\times 8\times 4\right)\times 9=48(\text{cm}^3)$
 ② $LJ//AE$ より、 $GJ:JE=GI:IA=1:2$ だから、 $\triangle EFJ=\frac{2}{1+2}$ $\triangle EFG=\frac{2}{3}\times\frac{1}{2}\times 8\times 4=\frac{32}{3}(\text{cm}^2)$
 ③ 三角錐I-JFGの底面を $\triangle FGJ$ とすると、 $LJ//AE$, $AE\perp$ 面EFGH だから、 $LJ\perp\triangle FGJ$ $\triangle FGJ=\frac{1}{3}\times\frac{1}{2}\times 8\times 4=\frac{16}{3}(\text{cm}^2)$
 $IJ:AE=1:3$ $IJ:9=1:3$ $3IJ=9$ $IJ=3(\text{cm})$ 三角錐I-JFGの体積は、 $\frac{1}{3}\times\triangle FGJ\times IJ=\frac{1}{3}\times\frac{16}{3}\times 3=\frac{16}{3}(\text{cm}^3)$
 直方体ABCD-EFGHの体積は、 $8\times 4\times 9=288(\text{cm}^3)$ だから、 $\frac{16}{3}\div 288=\frac{1}{54}$ (倍)

4

- 【正解】 ①(1) 4 (2) $(y=)\frac{5}{3}x+4$ (3) 17 ② $(y=)\frac{30}{49}$

【解説】

- ①(1) (変化の割合) $=\frac{(y\text{の増加量})}{(x\text{の増加量})}=\frac{3^2-1^2}{3-1}=\frac{8}{2}=4$
 (2) 2点B, Cのy座標は等しいから、点Bは、点Cをy軸を対称の軸として対称移動した点である。よって、点Bのx座標は-6で
 あり、y座標は、 $y=-\frac{1}{6}\times(-6)^2=-6$ である。点Aのy座標は、 $y=3^2=9$ だから、直線ABの傾きは、 $\frac{9-(-6)}{3-(-6)}=\frac{15}{9}=\frac{5}{3}$ となる。
 直線ABの式を、 $y=\frac{5}{3}x+b$ と表す。この式に、 $x=3$, $y=9$ を代入して、 $9=\frac{5}{3}\times 3+b$ $b=4$ よって、 $y=\frac{5}{3}x+4$
 (3) (2)より、Dのy座標は4である。直線ABの式に $y=0$ を代入して、 $0=\frac{5}{3}x+4$ $x=-\frac{12}{5}$ よって、点Eの座標は $(-\frac{12}{5}, 0)$
 (四角形DEFGの面積) $=\triangle DEF+\triangle FGD=\frac{1}{2}\times\{4-(-6)\}\times\frac{12}{5}+\frac{1}{2}\times\{4-(-6)\}\times 1=12+5=17$
 ② 点Aのx座標は正なので、 $\triangle ABC$ が直角二等辺三角形となるのは、 $\angle C=90^\circ$, $AC=BC$ のときである。点Aのx座標をtとする。
 3点A, B, Cの座標は、それぞれ、 $A(t, t^2)$, $B(-t, -\frac{2}{5}t^2)$, $C(t, -\frac{2}{5}t^2)$ となる。
 $AC=t^2-(-\frac{2}{5}t^2)=\frac{7}{5}t^2$ $BC=t-(-t)=2t$ $AC=BC$ より、 $\frac{7}{5}t^2=2t$ 整理して、 $7t^2-10t=0$, $t(7t-10)=0$, $t=0$, $\frac{10}{7}$
 $t>0$ より、 $t=\frac{10}{7}$ $A(\frac{10}{7}, \frac{100}{49})$, $B(-\frac{10}{7}, -\frac{40}{49})$ より、直線ABの傾きは、 $\left\{\frac{100}{49}-\left(-\frac{40}{49}\right)\right\}\div\left\{\frac{10}{7}-\left(-\frac{10}{7}\right)\right\}=\frac{140}{49}\div\frac{20}{7}$
 $=\frac{140}{49}\times\frac{7}{20}=1$ $y=x+c$ に、 $x=\frac{10}{7}$, $y=\frac{100}{49}$ を代入すると、 $\frac{100}{49}=\frac{10}{7}+c$, $c=\frac{30}{49}$ よって、 $y=\frac{30}{49}$

5

- 【正解】 ①(ア) (3) (イ) (10) (ウ) (6) (エ) (14)

- ②(1)(オ) $\frac{9}{4}$ (カ) $\frac{3}{2}$ (2)(キ) 4 (ク) 3 (ケ) $\frac{12}{7}$

【解説】

- ②(1)(オ) $AF=AC-FC=6-\frac{3}{2}=\frac{9}{2}(\text{cm})$ $\triangle ABF\sim\triangle BCE$ より、 $AB:BC=AF:BE$ $6:3=\frac{9}{2}:BE$ $6BE=\frac{27}{2}$ $BE=\frac{9}{4}(\text{cm})$
 (カ) $\triangle ABC\sim\triangle DEC$ より、 $AC:DC=CB:CE$ $6:3=3:CE$ $6CE=9$ $CE=\frac{3}{2}(\text{cm})$
 (2)(キ)(ク) $\triangle ABC$ と $\triangle BFC$ で、 $\angle BAC=\angle BDC=\angle FBC$, $\angle ACB=\angle BCF$ より、2組の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABC\sim\triangle BFC$
 よって、 $\triangle BFC$ は二等辺三角形だから、 $BF=BC=3\text{cm}$
 また、 $\triangle BFA\sim\triangle CFD$ より、 $BF:CF=FA:FD$ $3:\frac{3}{2}=9:FD$ $3FD=\frac{27}{4}$ $FD=\frac{9}{4}(\text{cm})$
 よって、 $BF:FD=3:\frac{9}{4}=4:3$
 (ケ) $AF:FC=\frac{9}{2}:\frac{3}{2}=3:1$ より、 $\triangle ABF=3\triangle BCF$ であり、 $BF:BD=4:(4+3)=4:7$ より、 $\triangle BCF=\frac{4}{7}\triangle BCD$ であるから、
 $\triangle ABF=3\times\frac{4}{7}\triangle BCD=\frac{12}{7}\triangle BCD$